

官民連携

認知症 バリアフリー シンポジウム

令和6年度 認知症バリアフリー社会推進事業

認知症は誰でもなりうるものであり、私たちはもちろん、家族や友人、知人が認知症になることもありえます。そして、認知症になってからもできる限り住み慣れた地域で暮らしていきけるよう、生活環境のバリアフリー化を官民連携で取り組むことを目指しています。

2025.1/24金

14:00~16:00(受付13:30)

沖縄県立博物館・美術館 講堂

沖縄県那覇市おもろまち3丁目1-1

安心できる
社会づくりを!

みんなが
笑顔になれる
サービスをするぞ

地域での
見守り大切!

親とお出かけも
楽しくなるよ

私たちも
認知症社会の
一員!

自分ごととして
考えよう!



公立大学法人
埼玉県立大学理事長
慶應義塾大学名誉教授
田中 滋氏

テーマ

認知症バリアフリー社会実現のための手引き ～認知症官民協議会ワーキンググループの歩み

地域包括ケアシステム論、医療・介護政策、医療・介護経営、医療経済学を専門分野とする医療・介護分野の第一人者。認知症の人やその家族の方々が安心して店舗やサービス・商品を利用できるように、様々な配慮や工夫に取り組んでいる企業や団体を公表する「認知症バリアフリー宣言制度」のとりまとめ役を担った。協会けんぽ運営委員会委員長、厚生労働省「医療介護総合確保促進会議」座長、「ケアマネジメントに係る諸課題に関する検討会」座長、「第8次医療計画等に関する検討会」座長代理などを務める。

県外における先進事例紹介

株式会社セブン&アイ・フードシステムズ

県内における先進事例紹介

宜野湾市認知症見守り事業
「地域を見守る『ミマモライド』プロジェクト」

入場無料

<事前予約制>

参加申込はこちら

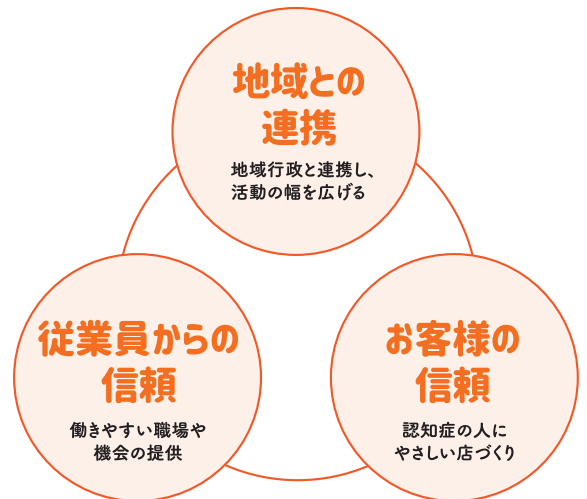


認め合い、支え合い、関わり合う社会のために、 私たちができること

認知症が身近なものとなってきている現代において、認知症の人が、
尊厳と希望を持って認知症とともに生きる、また、認知症があってもな
くとも同じ社会でともに生きる「共生」社会の実現が求められていま
す。その取組のひとつとして取り組まれている「認知症バリアフリー宣
言」は、日本認知症官民協議会*が進める、認知症になってからでも
できる限り住み慣れた地域で普通に暮らし続けていくための障壁を
へらしていく活動です。企業・団体などが自らの取組を宣言し、行動に
つなげていくことで、職域から地域へ、社会全体へと共生する心を結
び合わせていく活動です。

業種や団体、地域などさまざまな垣根を超えて、みんなで手を取り
合って、認知症バリアフリー社会を実現しましょう！

* 日本認知症官民協議会…認知症への取組を官民一体となって進めることを目的とし、経済
界、産業界、医療・介護業界、学会や関係省庁などから約100団体が参画して2019年に設
立された団体です



シンポジウムの参加される方は、以下のいずれかでお申し込みください

《 WEBからお申し込みされる方 》



WEB申込みの手順 ※Yahoo! JAPAN IDが必要です。



スマホのカメラを左の「QRコード」にかざして読み込みます。



申込みフォームにて必要事項を記入し、お申し込みください。

申込締切日

1月23日(木)
15:00まで

《 FAXまたはメールからお申し込みされる方 》

FAX

098-941-3973

メール

o-ninchisyo@idb-aaa.co.jp

下記の申し込み用紙に記入後、FAXまたはメールにてお送りください

代表者名	フリガナ	参加人数
所属団体名		
電話番号	E-mail	

※申込書にご記入いただきました情報は、本イベントへのお申込み確認以外に使用いたしません。

お問合せ

有限会社 アイディー・ブランド
沖縄県那覇市銘苅1-2-22 前幸ビル 301

TEL / 098-941-3972 FAX / 098-941-3973
✉ o-ninchisyo@idb-aaa.co.jp